

ヘルマー「何よりか第一に、お前は妻であり母である。」

ノラ「そんなことはもう信じません。何よりも第一に私は人間です。」

---

### コメント

イプセン「人形の家」（島村抱月訳）の末尾近くのやり取り。  
妻ノラは、夫ヘルマーや子どもを捨て、家を出る決意をします。家庭や社会に縛られない生き方を選んだノラに、日本でも多くの人が共感しました。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

氏名：野坂昭雄(国際総合学科教員)

タイトル：人形の家

著者名：イプセン

ページ数：

引用元

「きみはヒロシマで何も見なかった。何も」  
「わたしはすべてを見た。すべてを。」

### コメント

映画『二十四時間の情事』の冒頭部のセリフ。  
災厄を体験した人と、体験していない人との間に厳然と存在する壁を意識し、  
衝撃を受けました。最近、シナリオの新訳が刊行されました。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

氏名：野坂昭雄(国際総合学科教員)

タイトル：『二十四時間の情事』(映画)

著者名：アラン・レネ監督

(原作『ヒロシマ・モナムール』マルグリット・デュラス)

引用元

つひにゆく 道とはかねて きゝしかど  
きのふ今日とは 思はざりしを

---

コメント

「伊勢物語」第一二五段（最終段）の和歌。  
いつかは訪れると分かっているもの（この場合は死）が、不意に来た時の悲しさ、寂しさ、絶望感などなど、いろいろなものが頭の中を駆け巡ります。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

氏名：野坂昭雄(国際総合学科教員)

タイトル：伊勢物語

著者名：？

ページ数：

引用元

「先生、友だち、いないんですか？」

「うん、いないよ」

(中略)

十代にとって、交遊関係は存在証明のようなものだ。  
最大の恐怖は、自分だけが孤立することだ。

#### コメント

多感な10代、20代の頃は、アドレスの登録人数の多さやスケジュール帳が埋まっていることこそ充実の証だと思ってしまう。友だちがいないなんてさらさらと言える強さにハッとしました。周囲の“充実”にやきもきし、他者と繋がることに必死になりすぎてしまった時に読むと、心が軽くなります。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム：ニモ

タイトル：イン・ザ・フォル（「フランス」）引用元

著者名：奥田 英朗

ページ数：p211～212

WEBに掲載：OK!・NG

# 世間とは個人じゃないか

## コメント

世間といえは、一般的な、大多数の意見、といったイメージを持っていました。しかし、このフレーズを読み、自分個人の意見を、世間(大多数の人たち)の意見として主張しているというすり替えに衝撃を受けました。一体、「世間」とは何なのだろうか?と考えるきっかけをくれた本です。

学校名: 大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム: ニモ

タイトル: 人間失格(昭和文学全集5) 引用元

著者名: 太宰治

ページ数: p1083

WEBに掲載:  OK!  NG

おじけづいたら 負ける

コメント

何か勝負をする時、新たに一歩を踏み出す時、不安で「おもしろ」消極的に  
なりがちですが、その時にこの言葉を思い出します。

何事も強気!!!

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム：

ニモ

タイトル：超訳 ニーチェの言葉

引用元

著者名：フリードリヒ・ニーチェ（白取春彦 編訳）

ページ数： P62

WEBに掲載：OK!・NG

五十歳になったときに  
誰にも尊敬されない人生は  
非常に辛いものだ

コメント

そ、そうなのか〜とおもいつつ、全文よんでしまいました。  
まずこのエッセイ本のタイトルにもびっくり...!!

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム：限りなく湯、ているけど  
ブルー

タイトル：すべての男は消耗品である Vol.7 引用元  
置き去りにされる人びと

著者名：村上 龍

ページ数：P107 - 113

WEBに掲載：OK!・NG

ひとりでいる時の淋しさより

二人でいる時の孤独の方が哀しい

コメント

中学・高校時代によくおもっていたモヤモヤをこんなに立體的に  
歌詞として表現されていたこの曲にびっくりしました。

スラムダンクみてたときは  
ちょっと気付かなかった…!!

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム： don't you see

タイトル： **マイフレンド**

著者名： **ZARD**

ページ数：

引用元

WEBに掲載：(OK)・NG



「もうお金の事なんか考えないですむように。ありあまるお金が欲しい。

— お金は臭うと誰もが言うけれど、それは嘘だ。  
お金は数字と同じようにきれいだ。

— 臭うのは人間のほう」

**コメント** 人情を軽蔑する“公平な人間”カトリは、自身と障<sup>かた</sup>碍を持つ弟の為に、誠実なる掠<sup>すく</sup>取を企てる。担いは村外れに隠棲する世界的入会<sup>か</sup>わ<sup>り</sup>ク<sup>ワ</sup>ターの作者である老女。術策を弄して始まった共同生活の中での、好意に溺れる老女と実益に凝<sup>こ</sup>った若い女の衝突と混交、そして変化……。読後、あなたは誰を“詐欺師”と判じますか？

ヤンソン氏の真価は“ムーミンシリーズ”だけでは語れないと思う。本作以外の“大人向け”長短編でもヤンソン氏は“個人”と言うものを活写している。孤独の身でなくとも、誰も踏み越えられない“絶対孤独”とも言うべき領域に源を発する感情の機微を、冷徹な筆致で描いている。

妖精も空想ないヤンソン女史の側面を覗いてみては？若い内に出会えたことを、あなたはきっと感謝するでしょう。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム： 亀山  
氏名

タイトル：誠実な詐欺師

引用元

著者名：トーベ・ヤンソン

ページ数：168 ページ

WEBに掲載：OK!・NG

# 走るの好きか？

コメント 主人公・走(かける)に、先輩であるハイジが言った台詞。

素人がほぼの10人で箱根駅伝を目指そうと青竹荘の面々に言い、

走ることの大変さを知っている走は無理だと思っていた。

そんな走にこの台詞を言い、その後、「走ってどういうことなのか」と言うハイジの、

「走る」ことに対する真摯な態度が心に残った。印象的な台詞と感じた。

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム：M・T

タイトル：風が強く吹いている

著者名：三浦しをん

ページ数：p78

引用元